

### “現地現物” 活動記録

豊田

### 人と動物の付き合い方を考える「愛知県動物愛護センター」

2019年動物愛護管理法が改正、今年3月末に愛知県動物愛護管理計画(2008年策定)が改訂されました。

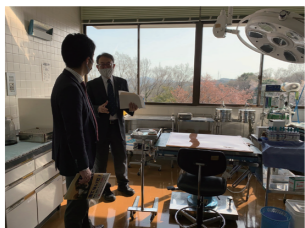
センターでは犬猫の保護や譲渡、しつけ教室、ペットショップ等の飼養施設の登録許可、立入検査を実施しています。

残念ながら引き取り手がなく殺処分される犬猫も少なくありませんが、ここ10年間の年間処分頭数はかなり減少。

殺処分数	平成20年	令和1年	11年間で
犬	1,606頭	240頭	▲85%
猫	4,430頭	484頭	▲89%

ただ野犬は生後3ヶ月経過後の保護となると、どれだけ愛情を注いでも人になつかず、結局殺処分に…。実際に保護された野犬(成犬)の顔つきは怯え、人が近づくと震える姿に胸が苦しくなりました。

コロナ禍で犬猫を飼う方が増えた一方で、結局飼えずに遺棄するケースも…。動物は今や家族同様、ふれあいを通してやすらぎや生きがいを共にするパートナー。しっかり責任を持つことが何よりも大切だと改めて感じました。



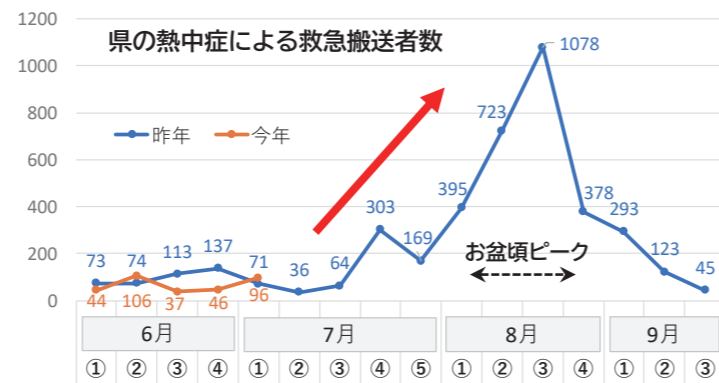
△ 犬猫の去勢手術室の様子



△ 殺処分場。左は獣医師の方

### 夏本番 熱中症に気をつけて!

コロナも要注意ですが、夏本番は何と言っても「熱中症」。救急搬送される方の55%前後が高齢者。人と離れているときはマスクを外して熱中症対策優先! 水分補給と涼しい環境で、健康・安全にこの夏を過ごしましょう!



### こんな時どうする? コロナ相談窓口

#### ●「発熱、息苦しい... コロナウイルスに感染したかも」



#### ●「ワクチン接種に関することを教えてほしい」

接種会場や日時など一般的なこと	あま市 0120(301)339 (毎日24h)
※ワクチン接種の予約は?	大治町 052(444)8211 (平日8:30~17:00)
接種券同封案内に記載(電話やオンライン等)	蟹江町 0567(94)3211 (毎日9:00~17:00)
	飛鳥村 0120(444)314 (毎日24h)
接種前: 副反応について知りたい	新型コロナウイルス感染症健康相談窓口(看護師対応) 052(954)6272 (毎日9:00~17:30)
接種後: 副反応がもしもない	052(526)5887 (平日夜間/土日祝24h)
	「かかりつけ医」等最寄りの医療機関を受診

### ONE TEAM「新政あいち県議団」新体制発足

～「声を形にする」県政を推進していきます!～

令和3年度、富田昭雄議員を団長に選出し、新たなスタートをきりました。私は、総務会長を支える副総務会長を拝命。総務会の主要な役割は、提出議案のうちの単行議案や請願の会派内の態度を決める、国に対しての意見書を取りまとめることです。

その他、外部団体との懇談会・勉強会窓口や会派の内部ルールの見直しなども重要な役割です。ポストコロナ時代の急速な社会変化に乗り遅れないよう、しっかり働きます!



団長	富田 昭雄 (名東区)	副幹事長	安井 伸治 (港区)
副団長	永井 雅彦 (刈谷市)	副総務会長	小木曾 史人 (あま市海部郡)
幹事長	森井 元志 (守山区)	副政策調査会長	松本 まもる (緑区)
総務会長	河合 洋介 (知多郡第一)	監事	黒田 太郎 (千種区)
政策調査会長	日比 たけまさ (春日井市)	監事	鳴海 やすひろ (中村区)
常任顧問	塚本 久 (北区)		

料金後納  
ゆうメール

差出人/返選先(差出發送代行) 6-18  
佐川グループロジスティクス(株)  
〒485-0075  
小牧市三ツ瀬惣作1350  
佐川急便(株)中京支社内メールセンター  
このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

愛知県議会議員 (あま市・海部郡選出)

### おぎそ史人 事務所

〒490-1222  
あま市木田八反田21 コーポエム1・1-C  
Tel/Fax 052-718-7050  
E-mail: ogiso\_f@yahoo.co.jp  
HP URL: http://ogiso-web.com/



正直に、まっすぐに、みなさんと「ともに進む。」

1977年3月23日生 (44歳)  
1995年 愛知県立旭丘高等学校 卒業  
2000年 名古屋大学 法学部 卒業  
2003年 衆議院議員 岡本みつり 秘書  
2013年 豊田合成株式会社 勤務  
2019年 愛知県議会議員 初当選

## 新政あいち 県議団 県政レポート

### 2021年 夏号 Vol.9

同封の県政アンケート用紙にご意見をお寄せくださいませ。

### 愛知県新型コロナウイルス感染症 嚴重警戒宣言



建設副委員長を拝命  
本年4月以降の感染拡大から約3か月。愛知県では、7/12から8/11までの約1か月は、嚴重警戒措置期間。ワクチン接種も進み、少しずつ落ち着きを取り戻してきたような雰囲気を感じます。しかしながら、どうしても3つの「不安」がぬぐい切れません。

### ●「飲食店」はコロナの感染源? 感染経路が判明

右表ご覧の通り「不明」が半数近くを占め最も大きいとはいえ、コロナ禍の休業や時短等一番煽りを受けている「飲食店」の値はわずか5%と小さくなっています。

一方、厚労省の専門家組織「アドバイザリーボード」は、以下のような国立感染症研究所の分析結果を7/7に公表しました。

「陽性者の過去2週間の行動を分析。飲酒付きの会食に2回以上参加した人は、参加が1回か0回の人に比べて約5倍感染しやすい」

ただ、これは単に「よく人と会うなど行動力のある人が感染しやすい」と言っているにすぎないのではとも思うのです。飲食店に時短要請する以上、協力金は当然の支援。ただ、コロナ禍を収束させるこの施策が、飲食店の営業努力の犠牲のもとで繰り返されることにモヤモヤ感が…。

県は、安心安全な飲食店の新たな認証制度「ニューあいちスタンダード(略して「あいスタ認証」)」を6/28からスタートさせました。感染防止対策50項目をすべてクリアすることが条件。

飲食店には大きな負担となる分、今後の時短・休業対象や予定されている飲食店支援のインセンティブとなるよう、まじめに必死に耐えて頑張っている飲食店が報われる「あり方」を訴えていきたいと思ひます。

- 1面/「飲食店」はコロナの感染源? 感染経路の数値が判明
- 2面/本会議 議案質疑に登壇
- 3面/6,7月議会 予算概要
- 4面/動物愛護センター視察
- 新政あいち県議団 新体制

二つ目は、ワクチン不足。6月議会の中では、市町村の7月分のワクチン要望に対し、半数に満たない分しか目途が立っていないことが判明。議会閉会日に県議会として急遽国に対する「ワクチンの円滑供給の意見書」を議決しました。

三つ目は、ワクチン接種における誹謗中傷や差別。この点については、6/18に新政あいち県議団として、いち早く知事に要望を出し、即日県として相談窓口設置等速やかな対応をとっていただきました。

これまでみんなで耐えてがんばってきた、ワクチン接種がはじまり、収束に光が見えてきた、しかしその光が社会の分断を招く新たな闇となつてはなりません。今こそ、日本国民、愛知県民の人間力の真価が問われていると思ひます。

### 愛知県の感染経路別コロナ感染者の状況 (2020年7月~2021年5月)

感染経路	人数:人	比率:%
家族	12,140	26.0
医療・福祉施設	3,757	8.0
職場	3,175	6.8
会食	1,485	3.2
接待を伴う飲食店	862	1.8
教育等機関	789	1.7
旅行などその他	3,556	7.6
不明	20,970	44.9
合計	46,734	100.0



START /

2021.6.28(月) 申請スタート



### 6月定例議会 新政あいち県議団 代表質問要旨

質問者：新政あいち県議団  
総務会長 河合洋介議員(知多郡第一選挙区)

#### 代表質問① 新型コロナウイルス対策

**Q** ワクチン接種の長期化を見据え、大規模集団接種会場の医療従事者を今後どう確保していくのか？

**知事** 医療従事者の確保は長丁場を覚悟。7か所の大規模集団接種会場では、会場となる大学病院、民間の医療人材派遣会社等の協力を得て確保に取り組む。

**Q** コロナ陽性患者のうち、無症状・軽症の方々への取り組みは？

**知事** 原則、宿泊療養施設への入所を案内しているが、諸事情で自宅療養を選択されることが多い。宿泊療養施設の利用促進のため、看護師の24h対応等の利点を丁寧に説明し、不安解消に努めていく。

自宅療養者に対しては、血中酸素濃度測定器(パルスオキシメーター)の貸出しや配食サービスによる生活支援の拡充のほか、体調急変時に備え、地域の医療機関等と連携できる体制を整備していく。

#### ◎ 愛知県のコロナ医療提供体制 (7/8時点)

診療・検査医療機関	1,642医療機関
患者受入医療機関	78病院
コロナ患者用病床	1,515床 うち重症者用 146床
PCR検査能力	約42,000件/日
宿泊療養施設	3施設 計 1,109室

#### 代表質問② 行政手続きのオンライン化

**Q** DX推進のため、キャッシュレス化を含めた行政手続きのオンライン化を今後どう進めていくのか？

**知事** 2025年度までに県内のオンライン化可能な手続きの100%オンライン化を目指す。

また、書類添付や対面審査が不要な手続きは、今年度中にすべてオンライン化実現を目指し取り組む。

DX推進には、キャッシュレス決済は不可欠。必要なシステムや導入する出納事務の検討を進める。

#### <ひとロメモ> 県出納事務のキャッシュレス決済

世界では現金を持ち歩かないキャッシュレスが主流になりつつあり、とくに電子マネーでの決済は、コロナ禍で加速的に普及しつつあります。愛知県でも県税について、昨年12月から電子マネー(PayPay、LINEPay)での納付が可能になりました。

#### 代表質問③ 性的少数者(LGBTQ等)への理解

**Q** 性的少数者への理解促進に向けた取り組みと、同性パートナーシップ制度導入に向けた考え方は？

**知事** 性的少数者の方々には、自らの性的指向や性自認に対する無理解や差別、社会的制約に苦しんでいる。こうしたことをなくすため、まずは、性的少数者への正しい理解の促進を重要課題と位置づけ、必要な施策を実施していく。

併せて、同性パートナーシップ制度の先行事例を検証し、制度について研究していく。

### 6月21日 本会議にて新政あいち県議団を代表して 議案質疑を行いました。



向かい側に知事や幹部職員が並んでいます。私です。席順は「1」

**Q** 今後ワクチン接種が進み、県が開設した大規模集団接種会場に余裕が生じた場合、会場をどのように活用していくのか？

**県当局** ワクチン接種のさらなる加速化に向け、対象市町村を拡大することも検討する。また、キャンセルによる予約枠の空きを活用して、高齢者に加え、保育士、警察職員、自衛隊員等感染リスクの高い職種に対して積極的に接種を進めていく。

**Q** 在宅の高齢者及び障がい者への巡回接種を進めるとあるが、在宅で介護されているご家族に対するワクチン接種はどのように取り組んでいくのか？

**県当局** 介護するご家族がワクチン接種の機会を失うことはあってはならない。今回の巡回接種では、ワクチンの余剰を出さない工夫が必要。その際には、在宅で介護されているご家族にワクチンを接種していただけるよう、各市町村に通知を行う。

### 6月定例議会及び7月臨時議会で可決された主な予算内容は 以下の通りです。

#### コロナ対策 ワクチン接種を加速します 《予算額 25億9,395万円》

1. ワクチン大規模集団接種会場の増設
  - ◎追加5か所の運営費 (～9/末まで)
  - ◎全7か所で、1日最大7,500人対応可能



接種規模:約31万人(全体の4.6%)

西尾張地区の多くは、7/8現在で対象市町村となっていませんが、今後地元自治体の意向も踏まえ、対象地区への追加、会場の追加設置も含め検討していくと伺っています。

#### 2. 高齢福祉施設等ワクチン接種加速支援事業費

- ◎巡回接種を行う医療機関に支援金を交付
  - ・高齢福祉施設・障がい者施設の利用者・従事者
  - ・在宅の高齢者(要介護度4、5の方)
  - ・在宅の重症心身障がい者など
  - ・在宅介護をしているご家族(P2下段参照)
- ◎対象期間:6月14日～7月31日まで

#### その他事業

#### 1. インターネット上の人権侵害に対するモニタリング(監視)の実施

- ◎背景: ネットの発達による人権侵害の多様化
- ◎対象: コロナ関係、部落差別、外国人、障がい者の誹謗中傷・差別的な書き込み
- ◎県が削除候補を選別し、国の機関へ削除要請

#### 2. 愛知県ヤングケアラー実態調査を実施

- ◎対象: ①公立学校児童生徒 約18,000人 (小5、中2、高2 全児童生徒の1割) ②県内すべての公立学校 1,573校 ③元ヤングケアラー、相談支援機関
- ◎2021年11～12月 調査を実施
- ◎2022年1～3月 調査結果集計・分析・公表

#### コロナ対策 地域産業を支援します 《予算額 1,203億7,254万円》

1. 営業時間短縮要請に伴う協力金の支給
  - ◎まん延防止等重点措置 6/21～7/10まで
  - ◎厳重警戒措置 7/11～8/11まで
2. プレミアム商品券発行事業の支援対象を拡大
  - ◎補助対象者:市町村(14市町村⇒36市町村)
3. 新たな観光消費の喚起に向けた取り組み支援
  - ◎県内旅行商品・ホテル代等の割引
    - 割引額: 代金の1/2(最大5,000円)
    - 対象期間: 2021/9/1～12/31宿泊分まで
    - ※8/31までに予約・販売された旅行が対象
  - ◎地域限定クーポンの付与
    - 上記利用者に最大2,000円キャッシュバック

#### コロナ対策 困っている方をサポートします 《予算額 38億4,553万円》

1. コロナ感染自宅療養者への無料配食サービス
  - ◎内容: 弁当・飲料を1食分として 1日3食分
  - ◎期間: 自宅療養期間が終了するまで毎日
2. コロナ禍の生活困窮者に自立支援金を支給
  - ◎支給額: 最大30万円/3か月
  - ※詳細は市町村役場にお問い合わせください。
3. デジタル分野の新たな職業訓練を拡充
  - ◎対象者: 離職・休業・シフト減少・生活困窮
  - ◎規模: 全373コース、6,899人

#### 県政キーワード ヤングケアラー

ヤングケアラー・・・本来大人が担うような家族の介護(障がい・病気・祖父母の介護)や世話(年下のきょうだい)をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子ども。

最近よく耳にするこのヤングケアラー。昨年国が初めて全国的な実態調査を実施。結果は、中2で5.7%(約17人に1人)、高2で4.1%(約24人に1人)が「世話をしている家族がいる」ことが分かりました。

家庭内のプライバシーに関わるセンシティブなところでこれまで中々表面化してこなかったこの問題に光を当て、苦しむ子どもを救う手立てを考えていきます。